

大念佛



No.69
発行/融通念佛宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 倍巖良舜



万部おねり

五月一日(木)〜五日(月)

「万部おねり」のいわれ

平野の「万部」あるいは「万部おねり」として親しまれているこの大法会は、正式には「阿弥陀経万部読誦・二十五菩薩聖聚来迎会」といいます。

八世紀頃（平安時代）から、人々の間に極楽浄土に往生したいという願望が広まり、来迎図が盛んに描かれるようになりました。その欲求はさらに菩薩の面や衣装を身につけ、往生の実体験を試みるところまで発展していききました。迎講・往生講などといわれるものです。これを「聖聚来迎会」といいます。

大念佛寺における「聖聚来迎会」の起源は、第七世法明上人（一二七九〜一三四九）が臨終の行儀をまのあたり拝したいと考え、菩薩の面や衣装をしつらえ最晩年の貞和五年（二三四九）春、自ら行者となつて来迎の儀式を執り行つたことに始まります。

近世に入り明和六年（一七六九）第四十九世堯海上人のとき、阿弥陀経一万部を読誦して檀信徒と有縁無縁諸霊の追善を祈つて万部会が創始されました。

この二つの法会が合体して今日に及んでいるのが「万部おねり」の儀式です。

菩薩様のおすがた

菩薩役 大東良清

万部法要などでお出しになられる融通念佛宗の菩薩さまは、大念佛寺菩薩役が扮しております。

菩薩役は全員、融通念佛宗の僧侶によって構成されています。二年間の見習い期間を経てようやく法要に出仕する事ができる本役となります。僧侶が菩薩に扮装して練り供養を行うというのは、他には類を見ないことでもあります。

からなっており、この順番で着けていきます。

足袋

木綿製の黄色に染められており、菩薩の金色身を表しています。足首を締めるのは、小ハゼ式ではなく、紐式になっています。

袴

絹で出来ており、色は赤色です。お練りの際に、足下などの生身が見えない様に気を付けて着けます。

手袋

黄色の綿で出来ており、手首を隠すために長く作られています。肘ぐらいいまであります。

胴着、腰衣、前垂

金襴の生地で作られており、厚みを持たせるために裏地に麻布をあてています。観世音菩薩



万部法要二十五菩薩名並び持物	
一	観世音菩薩 紫蓮台
二	勢至菩薩 金剛合掌
三	薬王菩薩 幢幡
四	薬上菩薩 玉幡
五	普賢菩薩 幡蓋
六	金蔵菩薩 瑟
七	獅子吼菩薩 拍子板
八	華嚴王菩薩 鉦鼓
九	虚空蔵菩薩 腰鼓
十	徳蔵菩薩 笙
十一	寶蔵菩薩 横笛
十二	法自在菩薩 箏
十三	金剛蔵菩薩 欽
十四	山海慧菩薩 篳篥
十五	光明王菩薩 琵琶
十六	陀羅尼菩薩 鳳簫
十七	衆宝王菩薩 銅鑼
十八	日照王菩薩 羯鼓
十九	月光王菩薩 振鼓
二十	定自在王菩薩 太鼓
二十一	三昧王菩薩 華鬘
二十二	大自在王菩薩 華幢
二十三	白象王菩薩 寶幢
二十四	大威徳王菩薩 供華
二十五	無辺身菩薩 香炉



光背

菩薩の後光を現したもので、面の天冠の後ろに金具で装着できるように作られています。以前は、クジラの髭で作られていましたが、現在は竹製で、漆で黒く塗られています。

持物

菩薩ごとに様々な持ち物があります。詳しくは表を参照して下さい。

華鬘

古代インドの装飾品で首から掛けるようになっていきます。

首巻き

これは平成になってから新しく加わったもので、首の露出を隠す為に用いられます。

天衣

赤色、空色、黄檗色の三色からなり、絹の生地で作られています。さも、天から舞い降りた様な優雅で気品のあるように作られています。

二十五菩薩練り供養の中でも、特に目を引くのが、腰を低く保った姿でお渡りされる先頭の観世音菩薩と二番目にお渡りされる勢至菩薩です。この二菩薩はお渡りする姿だけではなく、面や衣も他の菩薩とは違い、別格な特徴を持っております。それは、融通念佛宗の根本経典のひとつである『観無量寿経』によるもので、その経典の中に、観世音菩薩は、「紫金色にして、頂に肉髻あり、項、円光あり。」中略その天冠の中に、一の立てる化佛あり。」とあります。つまり観世音菩薩は、衆生を救う為に阿弥陀仏が菩薩に化身していることを説いています。よって観世音菩薩の面には、天冠の中心に一体の阿弥陀仏がいだかれております。又、観世音菩薩が持ちになっている

菩薩の衣装や面は、人間の身長や体型の変化によって新しく作りかえられております。又、お練りの様式なども時代とともに変わっていくありますが、私たちが共に幸あふれる世界にたどり着きたいという願いは、法明上人が練り供養を始めてから、これからも変わる事はないでしょう。お練りを行う菩薩も、本山にお参りしてお手を合はされる皆様も、合掌のお姿をした尊い菩薩さまなのです。

延喜殿 完成する！

去る平成二十六年一月二十四日に延喜殿の竣工式が執り行われました。当日は天候にも恵まれ晴天の中、本堂にて延喜殿が未来永劫に事故なく安全に快適に利用できる事を祈願し、法要が行われました。その後、新しい延喜殿に移りテーパーカット式、館内披露、竣工式典が実施され、いよいよ延喜殿の本格稼働が始まりました。



延喜殿は、一階が主に僧侶が学問をする講義室、及び僧侶の修行時の宿泊道場及び研修用施設です。又、法要行事の際には出仕僧侶の控室として利用されます。二階は管長宛下の公舎及び来賓の方々との客間、応接室となっております。法要行事の際には紫金職

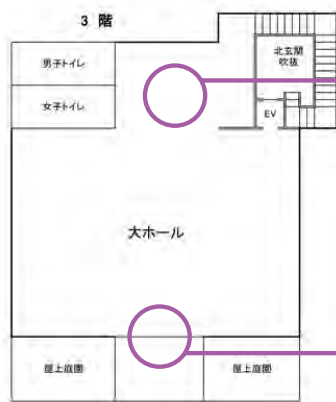
並びに奥話の長老の方々との控室にも利用されます。

又、大法要時に管長宛下が檀信徒の方々にお十念を授与されるお会いの間もこの階です。

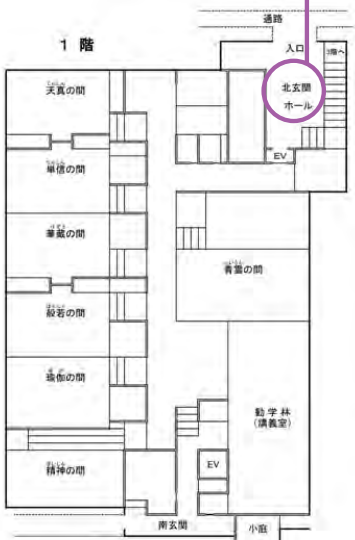
三階は多目的ホールで、万部などの法要時に檀信徒の方々との休憩所になります。およそ椅子席が四百二十席ご用意できます。その他講習会や発表会などの会場としても使用致します。

延喜殿はどのフロアもバリアフリーでエレベーターも有り、車椅子の方にも不自由なくご利用頂けます。

御遠忌の記念事業として、長い間構想を練り、様々な検討を重ね、ようやく完成に至りました。永らく不便な思いをおかけ致しましたが、今後は快適にご利用頂けるものと思っております。



尚光の間(お会いの間)の壁面は奈良市二名町 法融寺出身の画家 金森良泰氏による「二十五菩薩来迎図」です



平成26年 万部法要 日程・時間表

日程 時間	5月1日(木)	5月2日(金)	5月3日(土) 憲法記念日	5月4日(日) みどりの日	5月5日(月) こどもの日
6時30分	半斎勤行	半斎勤行	半斎勤行	半斎勤行	半斎勤行
9時30分	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦
10時		大念佛寺奉賛会 祈願法要			
10時30分			仏教讃歌奉納	仏教讃歌奉納	
11時					
11時30分	安堵念仏講	八島念佛講	融通声明 コンサート	雅のハーモニー	世界平和祈願 護摩供養
12時	魚山流詠讃歌舞	魚山流詠讃歌舞	魚山流詠讃歌舞	魚山流詠讃歌舞	魚山流詠讃歌舞
12時30分	布教	布教	布教	布教	布教
1時	宗務総長 挨拶 お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	宗務総長 挨拶 お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	宗務総長 挨拶 お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り
2時	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念
3時	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御
3時30分					

※各種奉納行事の内容・時間については、変更する場合がございます。

○万部中は、駐車場がございません。公共交通機関をご利用下さい。

お稚児さん募集

たくさんのお参りの方に身守られ、ほとけさまを身近に感じられるすばらしい渡御となることでしょう。

「菩薩様との記念撮影」も大変貴重な経験となります。是非ご参加ください。

■日程 五月一日～五日

■費用 お一人 八千円(一日)



※白足袋か白靴下を御用意ください。

申し込み 大念佛寺事務所まで
電話〇六一六七九一〇〇二六
※当日の申し込みは午前十一時まで受け付けております。

勧進のご案内

塔婆回向

本堂にて受付(十時から十五時まで)
○万部中常回向(五日間) 五千円
※万部終了後であっても五日間回向致します。

各種勧進

- 当日回向 (一日) 三千円
- 巻線香(御本尊用) 五百円
- 本堂正面用口ウソク 二千円
- 脇壇用口ウソク 一千円
- 本堂大屋根 瓦勧進 二千円

青年会だより 「おねがいごと」を叶える

毎年好評を頂いております「ぼさつさまぬりえ」は今年で八回目になります。今年は練供養で十番目に出現される「徳蔵菩薩」です。筆を持たれ衆生の求めに応じて、功德や慈悲の宝庫を開き、一生、衆生を救う菩薩とされています。毎年、青年会会員であります瀧野宗規師によって皆様の「おねがいごと」が叶うように描かれています。

万部法要期間中、無料休憩所において展示いたします。法要終了後には青年会僧侶による諸願成就の法要を執り行います。今年も多くの方の「おねがいごと」と色とりどりのぼさつさまをお待ちしております。



万部結縁回向

万部興に納めた万部経に霊名を記し、管長祝下によって永代に渡って回向されます。

伝統あるこの法会に、よき縁を結んでいただきたくお勧め申し上げます。



御遠忌 写経納経

納経された写経は、延喜殿にて永代奉納させていただきます。

「般若心経」または「日課浄業」の二種

納経料 一卷 一千円

受付 (本堂売店・事務所)

